



5月3日、昨年に続きコロナ禍の「憲法記念日」を迎えた。中東ではイスラエル軍とパレスチナ自治区の間で暴力の応酬が続き、子供を含めて尊い命が犠牲になっている。

5月11日、憲法改正の是非を問う手続きを定める「国民投票法改正案」が衆議院本会議で採決され、賛成多数で可決、19日に参議院憲法審査会に送られ、同法案が審議されている。菅首相は同改正法を「改憲議論を進める最初の一步」と述べたことから、自民党が掲げる、自衛隊の明記、緊急事態条項の創設等の改憲4項目についての改憲議論の前進が指されていると言え、危惧するのは、「緊急事態条項」をコロナ禍に乗じて新設し、憲法改正議論を行おうと見て取れる点だ。

「緊急事態条項」は新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言とは全く異なるものであるが、実際、憲法9条改正の是非が中心だった議論の最中、「緊急事態条項」に感染症対策を加える案が浮き、その事から世論調査の結果、憲法改正の機運が高まってきたと報道されている。感染症拡大は憲法の問題ではなく、ワクチン対応も含めた政府の対策の問題である。また、国民投票法の改正後も法制上の不備があり、国民投票が成立する条件とすべき最低投票率についての定めがない点にも危機感を覚える。組合員と家族の安全・安心な暮らしを守ることに政治は無関係ではない。憲法改悪にNOを掲げ、連帯のたたかいをつくり出そう。

物事の本質を見抜く力を養い、 職場の力をJR東労組に結集して 組織の未来を切り拓こう!

JR東労組は、「日本社会の大転換」と「JR東日本の構造改革」に立ち向かい、職場と仕事を生活を守るために自らが未来を描き、いま何をすべきかを真剣に考え立ち向かっていく。社会全体が目指すDXの成功には、AIの活用は欠かせないと言われている。しかし、東日本大震災など激甚化する災害でも明らかのように、予知や数値化できない現実も存在している。また、異常時対応を含めたマニュアルでは対応できないことが鉄道・バス・医療現場において発生する。AIは過去に学習した知見の延長線については判断できるものの「初めて」の事象については人間の感性が最も重視されることから、最後の砦は人間である事には変わりはない。「安全」を前提に「一人しかできない仕事」とは何かを明確にし、技術継承・技能伝承していくことが重要である。そして、労使間においても、人材育成やキャリアビジョンについて建設的に議論を積み上げ、組合員が安心・働きがいを持てる職場の構築に向け、共通基盤をつくり出していく。

いま職場では、厳しい決算の現実を受け止めつつも、一年以上続くコロナ禍において年収減と定期昇給カットの中、生活実感や労働実感について、組合員の現実や想いを出し合い、夏季手当交渉に向けて取り組みをつくり出している。職場からは、経営幹部の発言等に対し「赤字・コロナ禍だから仕方ない」との意識を定着させたいように思える」との声や、コロナ以前には戻らないと強調しているのに収入概況等において対前年比を示していることに対し、「昨年同時期に比べればお客さまのご利用は増えている」「黒字になってもコロナ以前に戻らないことを理由に賃金を抑制しようとしているのか」などの声もある。また、一部の現場長等から、国鉄の赤字は労働組合の責任だと受け取れる話や、何故かまたぞろ今行われていることに、怒りや不信の声も上げられている。

このような現実の中、今年度黒字の見通しを示しているのは、これまでの組合員と家族の奮闘であり、黒字化を実現する為にも「人」への積極的投資が必須である！物事の本質を見抜き、組合員と家族の生活を守り、モチベーション向上を目指すため、JR東労組へ結集し要求満額を勝ち取ろう！そして「あきらめ感・閉鎖感」を乗り越え、魅力ある組織と職場と仕事を切り上げよう！

経済が新型コロナウイルスにより大打撃を受ける中、社会全体でポストコロナ時代を見据えた変革が目指されている。JR東日本も2021年3月期決算説明会において成長・イノベーション戦略の再構築として「Beyond Stations構想」などによる収益力向上の計画を示し、また、「みどりの窓口」を2025年までに約7割削減するなどを示している。しかし、職場からは「会社施策をネットニュースで知ることが多い」「タブレット配信だけでは理解できない」との声が出されている。変革を実現するには投資家等への情報開示だけでなく、現場第一主義で透明感と納得感を醸成する議論を重視すべきだ。

「安全・健康・ゆとり・働きがい」が担保される職場の未来を私たちの立場から捉えたいと、自らの将来展望と確固たる自分自身を確立し、あらゆる困難に立ち向かおう！

JRセット共済を 活用しましょう!



JR総連は、組合員の安定した豊かな生活の実現を目的として、こくみん共済coop(旧「全労済」)の共済制度を利用した「JRセット共済」をつくっています。ぜひご活用ください!

◆全員一律加入契約(組合員)
健康状態にかかわらず、組合員なら月500円の割
安な掛け金で加入できます! (※)

補償内容					
病気等	不慮の事故等	不慮の事故	疾病障害	ドナー	
死亡・ 重度障害 共済金	入院 共済金 (日額)	死亡・ 重度障害 共済金	障害 共済金 第3級の1・ 5~第14級	入院 共済金 (日額)	見舞金 支援金
100万円	1,000円	200万円	90万円~ 4万円	1,000円	40,000円 10,000円

※新規加入時は、月払掛金(500円)とは別に、初回のみ出資金として100円が必要です。

◆任意加入契約(組合員・ご家族)
全員一律加入契約にプラスして、「団体生命共済」「総合医療共済」「交通災害共済」「火災共済・自然災害共済」の中から必要なものを付加することができます。また、ご家族も加入できます。

詳しくはパンフレットをご覧ください!
(分会や職場等に郵送しています)

皆さんの加入が労働組合の「組織力」となります!

JR東労組への加入を歓迎します!
労働条件改善を共に実現していきましょう!

◆労働組合加入の有無による違いとは?
労働組合は憲法で「団体交渉権」が保証され、交渉での合意事項を「労働協約」として法的効力を持つ書面にまとめることができます。一方、「社友会」には団体交渉権も、労働協約を結ぶ権利もありません。労働組合に加入していない状態というのは「労働条件は会社の都合で決まる」ということになり、労働組合に加入することで、安心して働ける職場環境と不安なく暮らせる労働条件の実現を目指しています。

◆会社へのチェック機能で、安心して働ける職場環境をつくらう!
赤字により定期昇給が半減され、年末手当の減額も合わせると家計がかなり苦しくなっています。しかし、約1兆円の借金が増えた今、「赤字だから仕方ない」と我慢するだけでは、生活の苦しさは一向に改善されません。また、一部管理者によるハラスメント行為も報告されており、黒字化に向けて奮闘する社員・組合員の努力に水を差しています。だからこそJR東労組は「会社へのチェック機能」を発揮し、良いことは良い、ダメなことはダメと指摘することで、安心して働ける職場環境と不安なく暮らせる労働条件の実現を目指しています。

◆労働組合とは? JR東労組とは?
労働者は一人では弱い存在ですが、「皆でまとまること」(組織力)を武器に会社と交渉し、労働条件や職場環境の改善、賃金引き上げなどを目指します。それが「労働組合」です。JR東労組は、組合員と家族の利益を守るために、JR東日本グループを発展させることを通じて、その会社の社員にふさわしい労働条件を獲得することを目指しています。

◆「会社へのチェック機能」で、安心して働ける職場環境をつくらう!
赤字により定期昇給が半減され、年末手当の減額も合わせると家計がかなり苦しくなっています。しかし、約1兆円の借金が増えた今、「赤字だから仕方ない」と我慢するだけでは、生活の苦しさは一向に改善されません。また、一部管理者によるハラスメント行為も報告されており、黒字化に向けて奮闘する社員・組合員の努力に水を差しています。だからこそJR東労組は「会社へのチェック機能」を発揮し、良いことは良い、ダメなことはダメと指摘することで、安心して働ける職場環境と不安なく暮らせる労働条件の実現を目指しています。

JR東労組へ加入をお考えの皆さんへ 〜JR東労組とはどんな組合かを紹介します!〜



第40回定期大会

日時: 6月21日(月) 10時開会
場所: 川口市民ホール フレンドシア

スローガン(案)
1. 組合員の雇用と利益を守るJR東労組をつくり出すために、「抵抗とヒューマニズム」の精神を基軸に、「新生JR東労組運動宣言」のもと、現場における自由闊達な議論と合意形成を通して組織強化・拡大を勝ち取り、組織の未来を切り拓こう!
1. 「安全・健康・ゆとり・働きがい」が担保される職場の未来を私たちの立場から捉えたいと、自らの将来展望と確固たる自分自身を確立し、あらゆる困難に立ち向かおう!

組合員の未来を切り拓くために、
定期大会の成功を実現しよう!



2021年度役員体制

役職	氏名	出身地本・担当
会長	奥山 光昭	横浜地本
副会長	宮田 利昭	仙台地本(東北ブロック)
〃	新野田正利	千葉地本(東関東ブロック)
〃	増田 富雄	横浜地本(西関東ブロック)
事務局長	植松 健	八王子地本
事務局次長	田崎 行夫	大宮地本
事務局次長	小川 哲	本部

※上信越ブロックの副会長については今後協議の上、選出していきます。

OB会「第25回定期総会」を開催!

4月27日、本部会議室においてJR東労組OB会「第25回定期総会」が開催されました。コロナ禍での開催のため、5地本(盛岡、秋田、仙台、新潟、長野)がリモートでの参加となりました。冒頭、奥山会長から、コロナ禍での奮闘に敬意を表すること、政治に関心を持たない世の中の現実、コロナワクチン接種の問題点、JR東日本の赤字についての挨拶がありました。また、来賓の中央本部佐藤副委員長から、水戸地本再建、JR東日本の赤字、コロナ見舞金についての挨拶と問題提起がありました。

各地本OB会からは、コロナで集まらない中での苦闘や実践が語られ、特にOB会会員同士の繋ぎや交流ができないことへの不安が出されました。そして、JR東日本の赤字の現実から、今こそ国鉄改革の精神を語り継ぐことの必要性を確認しました。

コロナが終息し、通常のOB会活動ができる日を目標として奮闘することを確認し、成功裡に終了しました。